

# もりした眼科クリニック通信

1月

発行日: 令和8年1月  
もりした眼科クリニック  
高松市松縄町 1140-9  
TEL: 087-865-6633



あけましておめでとうございます

今年は午年。駆け抜ける馬のように、皆様にとって活気あふれる一年となりますようお祈り申し上げます。

新春号は昨年末まで流行していた、はやり目について紹介します。はやり目についてうまく説明できたら嬉しいです！

## 眼科豆知識 ～はやり目（流行性角結膜炎）について～

「流行性角結膜炎」とは、アデノウイルス感染による結膜炎で、夏に多いとされていますが、冬の「かぜ」の時期にも流行します。アデノウイルスは感染力がとても強く、感染してから症状が出るまで、1-2 週間の潜伏期間があります。発症すると、強い目の充血や目やに、涙が多く出る、まぶしさ、目のごろごろ感などがみられ、これらの症状は2週間前後続くことが一般的です。

現在のところ、ウイルスそのものに直接効く薬はありません。そのため、体の免疫で自然に回復していくのを待つ間、必要に応じて、細菌などの混合感染を予防する、症状を和らげるための点眼薬などによる治療を行います。

もし、目を開けるのがつらいほど強い痛みがある時は、炎症による「偽膜」が瞼の裏にでき、角膜に傷がついて、処置が必要なこともありますので、そのような時は、早めに眼科を受診して下さい。

感染を拡げないためには、こまめな手洗いがとても大切です。そして、症状がある間はできるだけ外出を控えてください。保育園、幼稚園、学校については、充血が完全になくなり、医師が感染の恐れがないとするまでお休みしなければなりません。

アデノウイルス結膜炎を発症してから2-4週間後に、「角膜浸潤」といって黒目に濁りが生じることがあります。まぶしさや目のかすみを感じる人もいれば、症状が全くなって気が付かない人もいますので、結膜炎が治ってきた頃、もう一度、眼科にて診察を受けることをお勧めします。「角膜浸潤」は、点眼による治療が数か月以上、場合によっては数年必要なこともありますので、大丈夫といわれるまで頑張って治療を続けていただくことが大切です。

## 1月の診察のお知らせ

毎週水曜日と土曜日、

1月16日(金)、23日(金)午前は、

院長と非常勤医師の2名で診察させていただきます。



## 院長より



新年あけましておめでとうございます。皆さまはどのようなお正月を過ごされましたでしょうか。私は、大好きなあんこのお餅のお雑煮をいただき、穏やかにお正月を迎えることができました。寒さの厳しい季節が続きますが、体調を崩されませんようご自愛ください。本年も、皆さまの目の健康を支えられるようスタッフ一同努力して参ります。どうぞよろしく願いたします。

## 編集後記

あけましておめでとうございます。  
今年は何か運動を始めて、体力アップをめざします！  
本年もどうぞよろしく  
願いたします。



スタッフブログも  
更新中です！



morishita-eye.jugem.jp